

2024年6月26日

京都府知事 西脇 隆俊 様

向日町競輪場再整備とアリーナ問題を考える会
代表 中村 隆一

(連絡先)

橋本

「京都アリーナ」(仮称)整備等に関する要望書

平素は京都府民の生活向上にむけたご尽力に敬意を表します。

さて、6月7、9日と「京都アリーナ」(仮称)の整備計画にかかる住民説明会が開催されましたが、当初の予想を超える多くの向日市民の参加があり、参加者からは同アリーナ整備について交通渋滞や生活環境悪化を懸念する意見が相次ぎました。

また、今回の説明会が向日市民には初めての開催であることから、その進め方や手続きについても多くの疑問の声があがりました。

貴職は昨年10月、候補地を「北山エリアか向日市のいずれか」とし、今年3月には向日市に決定しました。そして、4月26日には「規模は8千席以上、整備費340億円、2028年度完成を目指す」などとし、さらに時を置かず5月2日には、事細かな仕様書を示してアリーナ建設と維持管理を担う事業者の公募を始めています。

説明会では、「すでに事業者の公募を始めながら、市民の意見を反映させることができるのか」などの問いに対し、主催者代表からは「周辺地域を含むまちづくりを一緒になってご検討させていただきたい」「事業者に住民の意見を届けたい。(説明会は)適宜考えたい」との答弁があったところです。

さらに、交通渋滞などの懸念については、今後の道路整備について「一朝一夕にはいかない」という味気ないものでしたが、これでは市民の不安は解消されることはありません。

以上の点から、この間の進め方は、市民の要望や意見を十分にくみ上げられないままに施設を中心としたことだけが決められた性格がつよく、再度、住民サイドの目線から見直す必要があるものと考えています。

については、下記の通り要望するものです。

記

- 1 現在、実施している「アリーナ事業者公募」事業内容について、いったん撤回し、市民の意見、要望を十分に聴取したうえで見直しを行い、再提案を行うこと。
- 2 そのために、向日市民向けに説明会、意見交換の場を設け、繰り返し、丁寧に実施すること。
- 3 アクセス道路と歩道の整備は必須条件であり、府道の整備と駐車場の確保を強力に推進する方策と見直しを示すこと。
- 4 生活・住環境の保全と敷地内での空間である広場、緑地、公園などを十分に配慮すること。

以上